

## 【佐野市】 校務 DX 計画

### 1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

本市においては、全ての市立学校で組織的に ICT 活用が行われるよう、市教育センターにおいて各種研修を実施している。また、平成 29 年より、全ての市立学校に統合型校務支援システムを導入し、業務改善に取り組んでいる。

一方で、GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの自己点検結果」(文部科学省令和 6 年 11 月実施) 学校向け調査の結果では、達成状況が 990 点満点中 330 点となっており、県の平均点を下回った。特にペーパーレス化の推進や、校務における会議や書類等のデジタル化に課題が見られる。

### 2. 校務 DX を推進するための課題解決策

#### (1) 会議のペーパーレス化

業務のペーパーレス化を進めるため、定例校長会議等における指導者用端末を利用した資料のクラウド共有を、その他の会議にも広めていく。

#### (2) FAX の廃止

業務の一部ではまだ FAX を利用する場合があるが、制度・慣行の見直しを行うとともに FAX の利用を求めている業務や関係団体・事業者を把握し、FAX 以外の手段への移行を進めていく。

#### (3) 押印の廃止

業務の一部ではまだ押印を求める場合があるが、制度・慣行の見直しを行うとともに押印を求めている業務や関係団体・事業者を把握し、押印を無くす方向へ進めていく。

#### (4) 名簿データのデジタル化

教育委員会より学校に紙で提供していた名簿情報について、データでの提供により学校の負担を減らしていく。